

理事長コメント（参加型システム研究所・理事会で）

2007年2月

- ・今年の暖冬は異常だ。地球温暖化への不安と恐怖が世界中に広がっている。先日「不都合な真実」という映画を観た。元米国副大統領アル・ゴアが地球環境の危機を訴えて世界各地1000ヶ所以上で行ったスライド講演の記録である。南極、北極の氷が音立てて崩れ、ヒマラヤの氷河やキリマンジャロの万年雪がしだいに消えてゆくリアルな映像に、改めて地球温暖化の恐るべき現実を知ることができた。必見の映画である。
- ・同時に私は、地球気象の危機を訴えて世界を回るゴアの姿に感銘を受けた。ここにこそ、私たちが求めるリーダー像があると感じた。時代の課題への深い洞察力、そこからくる強い使命感、それを果たすための行動力、スライドを使い、ジョークを交えながら進める見事な説得力と巧みな雄弁術—私たちにもぜひこういうリーダーが欲しいと痛感した。
- ・2000年の大統領選挙で、もしゴアが勝っていたら（50万票勝っていたが、奇妙な選挙制度のため敗れた）、9・11テロも、アフガン、イラク戦争もなく、京都議定書からの離脱もなく、世界もアメリカも平和で明るい21世紀を迎えることが出来ただろう。ブッシュが勝ったために21世紀は血なまぐさい幕開けになってしまった。リーダー選を間違えると、いかに悲惨な結果を生むか、世界は取り返しのつかない代償を払わされている。今年はリーダー選の年である。ぜひ誤りなき選択をしたい。